

地方公共団体	北海道標茶町
所在地	北海道川上郡標茶町川上4丁目2番地
地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿	「家畜排せつ物等の廃棄系バイオマスを活用した、バイオガス(電気、熱)の地産地消モデルの構築」～日本初！ バイオガスの乳業工場での直接燃焼～ 家畜排せつ物を資源化するバイオガスプラントによる酪農業の基盤整備、乳業工場へのバイオガスの供給により、 標茶ブランドの構築を目指します。
地域の現状・課題	—地域経済を支える酪農業と関連産業— 本町の酪農業は、関連産業を含めて町の経済を支える柱となっています。また、乳業工場で生産する家庭用バターは全国の消費量の約5分の1を生産し、標茶町酪農が国民生活を支えています。 近年は乳牛の飼養頭数増加に伴い、家畜排せつ物処理等に係る作業負担が増加、衛生面を含めた営農環境の改善が求められます。北海道胆振東部地震(平成30年)に伴うブラックアウト被害の教訓から、非常時にも利用可能な自立したエネルギー源の確保が課題となっています。 —世界に認められる釧路湿原— 町南部には、タンチョウの営巣地でも知られるラムサール条約登録地「釧路湿原国立公園」が広がり、国際的に貴重な湿地となっています。このため、環境に配慮した家畜排せつ物対策が求められています。
地域が持つ資源	<ul style="list-style-type: none"> 酪農資源: 266戸の酪農家、45,334頭の乳用牛、28,900haの耕地面積(2019年) バイオマス資源: 家畜排せつ物、敷料、残餌、及び工場からの汚泥等
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 地域の適応する多様なバイオガスプラントを整備し、家畜排せつ物等のバイオマス資源をメタン発酵処理し、生産したバイオガスの利用を図ります。特に、乳業メーカー工場へバイオガスボイラーによるスチーム供給は全国初の試みで、生乳生産時の廃棄物(乳牛排せつ物)も活用したエネルギーシステムを構築します。 メタン発酵消化液を肥料として、各農家の耕作地に散布、粗飼料等良質な農作物の栽培を強化します。



地方公共団体

北海道標茶町

所在地

北海道川上郡標茶町川上4丁目2番地

地域循環共生圏を
実践することで想定
される効果

(環境)

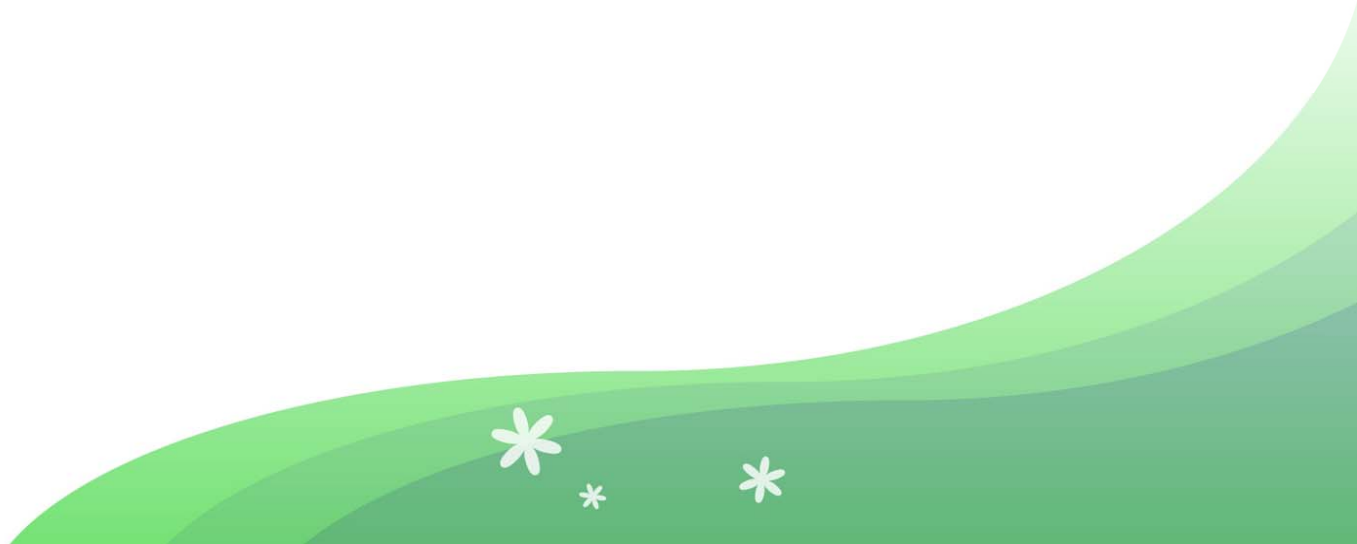
- 化石燃料由来のエネルギー消費の代替、CO₂排出量の削減
- 窒素等汚染物質による河川
- 地下水の汚染防止、釧路湿原等の保全強化

(経済)

- 域外からのエネルギー購入削減および域内経済循環の促進
- 製造過程のCO₂排出削減によるエコな乳製品等の地域ブランド創設
- 新規事業による雇用創出(バイオガスプラント、地域エネルギー会社等)

(社会)

- 酪農家の営農環境の改善(作業負担の軽減、悪臭対策 等)
- 非常時のエネルギー喪失によるリスク軽減





釧路湿原国立公園内の塘路湖



広大な牧草地



標茶の基幹産業 牛